

KENWOOD

DPX-U510

MP3/WMA/AAC対応デュアルサイズCD/USBレシーバー
取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



目次

4 はじめに

- 4 安全上のご注意
- 6 時計を調整しよう
- 8 本書の読みかた
- 9 本機でできること
- 10 ご使用の前に

12 まずはここから覚えてください

- 12 各部の名称とはたらき
- 14 共通の操作を覚えよう
- 14 電源を入れてみよう
- 14 音源を切り替えよう
- 14 音量を調整しよう
- 15 Function設定を操作しよう
- 16 お好みの音源を聴いてみよう
- 16 ディスクを聴くには
- 16 ラジオを聴くには
- 17 USB機器を聴くには
- 17 iPodを聴くには
- 18 外部機器を聴くには

19 ディスクやオーディオファイルを聴く

- 19 本機で使えるメディアとオーディオファイル
- 19 USB機器を聴くときは
- 20 ディスク・オーディオファイル再生中の画面表示
- 20 ディスク・オーディオファイルの再生機能に使うボタン
- 21 いろいろな機能を使って再生しよう
- 21 リピート・ランダム再生をする
- 22 聴きたい曲を探す（ミュージックサーチ）

24 iPodを聴く

- 24 iPodについて
- 25 iPod再生中の画面表示
- 25 iPod再生中に使うボタン
- 26 いろいろな機能を使って再生しよう
- 26 iPodの操作を本機またはiPod本体に切り替える

- 26 リピート・ランダム再生をする
- 27 リストから曲を探す
- 28 文字を入力して曲を探す（アルファベットサーチ）

29 ラジオを聴く

- 29 ラジオ受信中の画面表示
- 29 交通情報を聴く
- 30 ラジオを聴く
- 30 受信バンドを選択する
- 30 聴きたい放送局を自動で探す
- 31 放送局を手動登録する
- 31 放送局を自動登録する（オートメモリー）
- 31 登録した放送局を呼び出す

32 本機の設定をする

- 32 ディスプレイの表示を設定しよう
- 34 ディスプレイの表示を切り替える
- 34 イルミネーション色を設定する
- 35 イルミネーション色を調整する
- 36 お好みの音質に設定しよう（オーディオコントロール）
- 38 音源ごとに設定を変更しよう
- 40 初期設定を変更しよう

42 こんなときは

- 42 困ったときに
- 42 故障かな？と思ったら
- 44 異常にお気づきのときは
- 44 こんなメッセージが表示されたら・・・
- 46 本機を取り付けるときは
- 46 必ずお読みください
- 48 配線をしましょう
- 50 取り付けましょう
- 52 用語集
- 52 商標について
- 53 仕様
- 54 保証とアフターサービス（必ずお読みください）
- 55 ケンウッド 全国サービス網

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。



警告



実施

- 運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。
 - ・ カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入やUSB機器の接続・取り出しなど）



警告



実施

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



- USB機器とUSBケーブルは、運転に支障をきたさないような場所に固定してください。
- 以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- ・ 音が出ない
- ・ ディスプレイが表示されない
- ・ 異物が入った
- ・ 水がかかった
- ・ 煙が出る
- ・ 変な匂いがする



- 修理は必ず購入店、またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

- 本製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

注意



注意

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

- 本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- 本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。
- 本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



実施

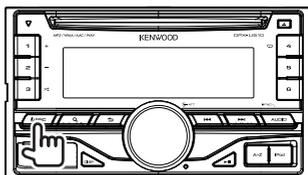
- 本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため〈お買い上げの販売店〉にご依頼ください。

時計を調整しよう

本機をご使用になる前に、時計を調整しましょう。

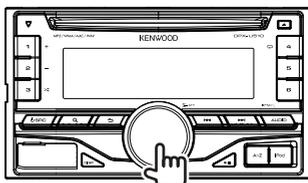
1

SRC を押して電源を入れる



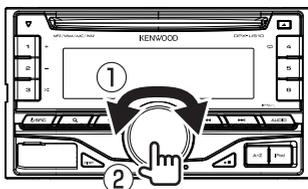
2

ボリュームノブを1秒以上押し
して時計調整モードにする
時計表示が点滅します。



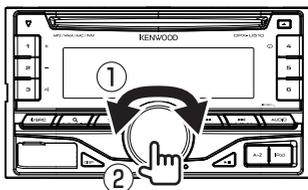
3

① ボリュームノブを回して
「時」を調整し、
② ボリュームノブを押す



4

① ボリュームノブを回して
「分」を調整し、
② ボリュームノブを押す



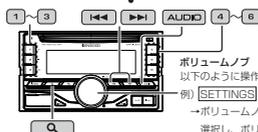
本書の読みかた

この取扱説明書には、以下のようなイラストや表示が使用されています。
ここでは、それぞれの表示の意味をご紹介します。

「その操作でできること」をタイトルとして記載しています。目的の機能を探す目印としてお使いください。

対象ページ内で説明されている操作に必要なボタンを示しています。操作するボタンの位置確認にお役立てください。

ラジオを聴く



受信バンドを選択する

FM、AMの受信バンドを選択します。

- 1 **[BAND]** を押す
押すごとに受信バンドが切り替わります。

聴きたい放送局を自動で探す

- 1 聴きたいバンドを選択する
操作方法は「**受信バンドを選択する**」(P.31)をご覧ください。
- 2 **[SEEK]** または **[SEEK]** を押す
受信状態の良い放送局が自動で受信されます。

♪ **こんなときは…**
・手で周波数を合わせたい
→ **P.40** を参照して、「**SEEK MODE**」を「**MANUAL**」に設定し、**[SEEK]** または **[SEEK]** を押して周波数を合わせる。

放送局を自動登録する (オートメモリー)

放送局を自動的に放送局リストに登録します。

- 1 聴きたいバンドを選択する
操作方法は「**受信バンドを選択する**」(P.31)をご覧ください。
- 2 **[AUDIO]** ボタンを約1秒以上押す
- 3 **[SETTINGS]** を選択する
- 4 **[AUTO MEMORY]** を選択する
- 5 **[YES]** を選択する
受信状態の良い放送局が、放送局リストに自動的に最大で6局分登録されます。

📖 **MEMO**
・バンドごとに、6局の放送局を登録することができます。手動登録とオートメモリーは、どちらか最後に登録したものが有効になります。
・ミックスプリセットモード (P.42) 中はオートメモリーはできません。

枠で囲んだ文字は、ディスプレイに表示される文字を表しています。

章の内容を表しています。

関連する機能・操作を紹介しています。

操作に必要な条件やできないことなどの、補足情報を記載しています。

📖 MEMO

- ・本書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は、操作説明を円滑に行うための例です。そのため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

DPX-U510 3

本機でできること

DPX-U510でできることをご紹介します。
各機能の詳しい操作内容は参照先ページをご覧ください。

ディスクを聴く

- CDはもちろん、MP3、WMA、AACの入ったCD-R/CD-RW/CD-ROMも聴ける！(P.19)
- ※ 本書では、MP3、WMA、AACをまとめて「オーディオファイル」と表記しています。



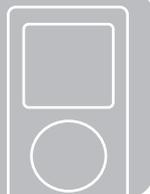
ラジオを聴く

- よく聴く放送局を登録できる！(P.31)
- ワンタッチで放送局を呼び出せる！(P.31)



iPodを聴く

- iPod、iPhoneの音楽を聴ける！(P.24)
- たくさんの曲から、聴きたい曲をすぐに探せる！(P.27)
- ※ 別売品のiPod接続ケーブル KCA-iP102が必要です。



USB機器をつなぐ

- お手持ちのUSB機器に入っている音楽を聴ける！(P.17)
- 大量の曲も簡単に管理できる！(P.22)
- ※ 別売品のUSBケーブル(推奨品「CA-U1EX」)が必要です。



ポータブルオーディオなどをつなぐ

- お手持ちのデジタルオーディオプレーヤーとつないで再生できる！(P.18)
- ※ 市販品のミニプラグケーブル(3.5φ)が必要です。



ご使用の前に

本機を使用していただくうえで、知っておいていただきたいことです。

表示できる文字について

本機で表示できる文字は、英大文字と数字のみです。

使用できる別売品のリモコンについて

別売品のリモコンについては、カタログをご覧ください。なるか、購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

お手入れについて

本機の操作パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。

また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、音源をラジオにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外の音源に切り替えてください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げると、保護回路が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタン (P.44) を押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

お気をつけください

●USB機器、iPodを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、USB機器、iPodが変形や故障する場合があります。

●以下のディスクは使用しないでください。

8cmディスク

8cmディスク、アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、本機が故障することがあります。

特殊な形状のディスク

円形以外のディスクは、故障の原因になります。



記録面（レーベル面の裏）に着色や汚れがあるディスク

引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。



マークのないディスク

正しく再生されない可能性があります。

ファイナライズ処理していないCD-R、CD-RW

お使いのCD-R/CD-RWライティングソフト、CD-R/CD-RWレコーダーの取扱説明書を参照して、記録を行った機器以外のプレーヤーでも再生できるようにするための処理（ファイナライズ処理）を行ってください。

ただし、CD-R/CD-RWはファイナライズ処理をしていても、記録状態によって再生できない場合があります。

汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク

音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。

表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク

ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

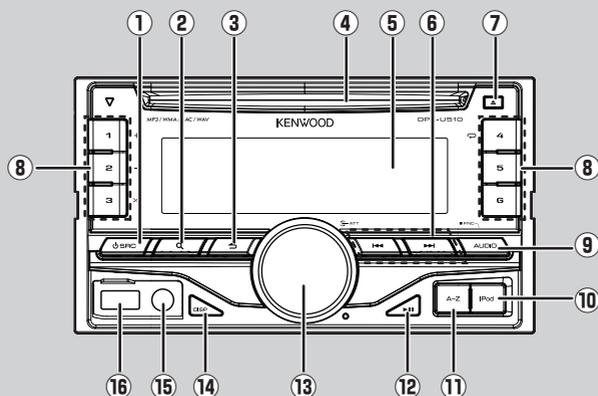
●ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

●本機からディスクを取り出すときは、ディスクを下側に強く押さず、水平方向に引き出してください。ディスクを下側に押すと、記録面に傷を付ける原因となります。

●新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

●音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。

各部の名称とはたらき



■各ボタンの機能

番号	名称	動作
①	ソースボタン SRC	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源をオンします。1秒以上押しと、本機の電源をオフします。(P.14) ラジオやCDなどの音源を切り替えます。(P.14)
②	サーチボタン Q	<ul style="list-style-type: none"> CDやiPod、オーディオファイル再生時に、曲を検索します。(P.22) (P.27) ラジオ受信時に、バンドを選択します。(P.30) 1秒以上押しと、交通情報を受信します。(P.29)
③	リターンボタン ←	<ul style="list-style-type: none"> 設定操作中、一つ前の項目に戻ります。(P.15) オーディオファイル選択時は、一つ上のフォルダに戻ります。 1秒以上押しと、設定モードやオーディオコントロールモードまたはミュージックサーチモードを解除します。
④	ディスク挿入口	ディスクの差込口です。(P.16)
⑤	ディスプレイ	時計や再生中の曲の情報など、本機の動作内容を表示します。
⑥	シークボタン ◀▶	<ul style="list-style-type: none"> ラジオの周波数を切り替えます。(P.30) ◀ を1回押しと、再生中の曲を先頭から再生します。2回押しと、1つ前の曲を再生します。 ▶ を押しと、1つ後の曲を再生します。 押し続けると、早戻し/早送りします。
⑦	イジェクトボタン ▲	ディスクを取り出します。(P.16)
⑧	プリセットボタン 1 2 3 4 5 6	<ul style="list-style-type: none"> 2秒以上押しと放送局を登録します。(P.31) CDやiPod、オーディオファイルの再生機能を切り替えます。(P.21) (P.26)

各部の名称とはたらき

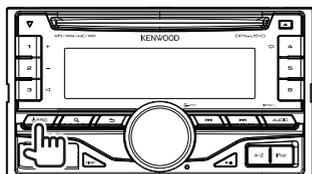
番号	名称	動作
⑨	オーディオボタン 	<ul style="list-style-type: none"> • 押すとオーディオコントロールモードに切り替えます。(P.36) • 1秒以上押すと、各機能の設定モードに切り替えます。(P.38) (P.40)
⑩	iPodボタン 	<ul style="list-style-type: none"> • 音源をiPodに切り替えます。(P.14) • iPod/iPhone再生中は、ボタンを押すごとにコントロールモード (APP&iPod) の設定が切り替ります。選曲などの操作を、本機からのみ操作できるMODE OFFとiPod/iPhoneから操作できるMODE ONの2つのモードを切り替えます。(P.26)
⑪	A～Zボタン 	iPod再生時に、アルファベットサーチモードに切り替わります。(P.28)
⑫	プレイ/ポーズボタン 	CDやiPod、オーディオファイル再生・一時停止をします。
⑬	ボリュームノブ	<ul style="list-style-type: none"> • 左右に回して、音量を調節します。(P.14) • 押すと音量が素早く小さくなります。もう一度押すと元の音量に戻ります。 • 1秒以上押すと、時計調整モードになります。(P.6) • 設定操作時に、回して項目を選択し、押してその項目の設定を決定します。(P.15) • CDやiPod、オーディオファイルの検索中に押して、選択した曲やフォルダを決定します。(P.22) (P.27)
⑭	ディスプレイボタン 	<ul style="list-style-type: none"> • ディスプレイの表示を切り替えます。(P.34) • 1秒以上押すと、再生中の曲タイトルなどをスクロールさせます。
⑮	AUX端子	ポータブルオーディオ機器などの外部機器を接続します。(P.18)
⑯	USB端子	USB機器/ iPodを接続します。(P.17)

共通の操作を覚えよう

電源を入れてみよう

まずは本機の電源を入れてみましょう。

1 SRC を押す



本機の電源がオンになります。

SRC を1秒以上押すと、本機の電源がオフになります。

MEMO

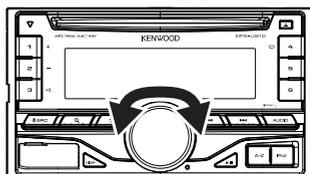
- 使用できない音源には切り替えられません。(例: ディスクが入っていないときには、**CD** に切り替わりません)
- iPodの接続が認識されると、画面の表示は「USB」から「iPod」に変わります。

音量を調整しよう

1 ボリュームノブを回す

右に回すと音量が大きくなり、左に回すと音量が小さくなります。

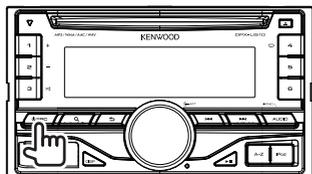
設定操作中には音量調整ができません。



ボリュームノブを押すと、素早く音量を小さくできます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

音源を切り替えよう

1 SRC を聴きたい音源が表示されるまで数回押す



iPod を押すと音源をすぐにiPodにできます。

ディスプレイの表示は以下の音源を示しています。

STANDBY : 何も再生していない状態

TUNER : ラジオ

USB : USB機器

iPod : iPod、iPhone

CD : ディスク

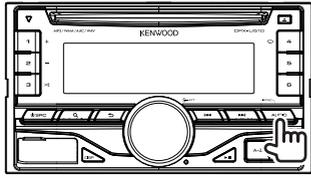
AUX : AUX

Function設定を操作しよう

本機では、音源ごとの設定をFunction設定で行います。ここでは、Function設定画面とリスト画面の操作方法について説明します。

1 AUDIO を1秒以上押す

Function設定画面が表示されます。



SETTINGS

MEMO

- 選択している音源により、設定できる項目は異なります。

2 ボリュームノブを回して項目を選択する

INITIAL SET

選択している項目が移動します。

3 ボリュームノブを押して選択した項目を決定する

本書では手順2～3の操作を「INITIAL SETを選択する」と表記しています。

MEMO

- Function設定画面以外のリスト画面でも、選択・決定の操作方法は同様です。
- 1つ前の階層に戻るときは、を押します。
- を1秒以上押すと、Function設定が終了します。

お好みの音源を聴いてみよう

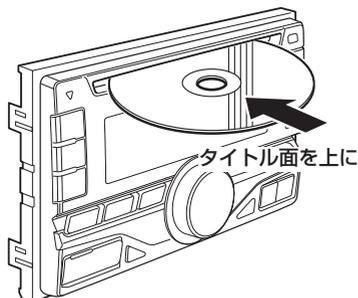
本機で聴けるそれぞれの音源の基本操作について説明します。

ディスクを聴くには

ディスクを挿入する

- 1 ディスク挿入口にディスクを水平に差し込む

差し込んだディスクが再生されます。

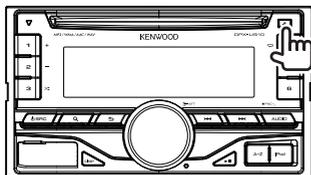


MEMO

- 8cmディスクは使用できません。

ディスクを取り出す

- 1  を押す



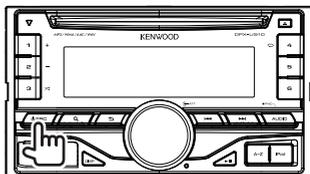
• こんなときは… •

- 再生機能を変えたい → P.21
- すでに本機に入っているディスクを再生したい → ディスプレイに **CD** と表示されるまで **SRC** を押す。
- 再生できるオーディオファイルの種類を知りたい → P.19

ラジオを聴くには

- 1 **SRC** を **TUNER** と表示されるまで押す

ラジオが受信されます。



• こんなときは… •

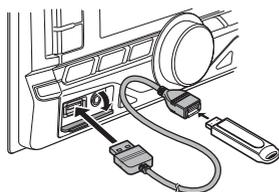
- バンドを変えたい → P.30
- 聴きたい放送局を探す → P.30

USB機器を聴くには

USB機器を接続する

- 1 USB機器が接続されたUSBケーブル（別売品）を、USB端子に差し込む

USB機器内のオーディオファイルが再生されます。



MEMO

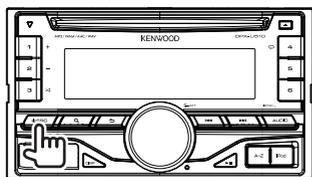
- USBケーブルは、CA-U1EX（別売品）の使用を推奨します。

● こんなときは… ●

- 再生機能を変えたい → P.21
- すでに接続されているUSB機器を再生したい → ディスプレイに「USB」と表示されるまで「SRC」を押す。
- 再生できるオーディオファイルの種類を知りたい → P.19

USB機器を取り外す

- 1 「SRC」を押して、音源表示を「USB」以外にする



- 2 USB機器を取り外す

MEMO

- この操作を行わずにUSB機器を取り外すと、USB機器内のデータが破損する場合があります。
- 充電式USB機器の場合、接続中に充電されます。（本機の電源オン時のみ）

iPodを聴くには

iPodを接続する

- 1 お手持ちのiPodをiPod接続ケーブル KCA-iP102（別売品）を使用して、USB端子に差し込む

iPod内のオーディオファイルが再生されます。

● こんなときは… ●

- 再生機能を変えたい → P.26
- すでに接続されているiPodを再生したい → 「iPod」を押す。
- iPod内の曲を選びたい → P.27

iPodを取り外す

- 1 「SRC」を押して、音源表示を「iPod」以外にする

- 2 iPodを取り外す

MEMO

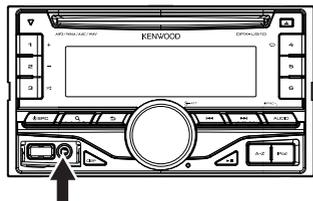
- この操作を行わずにiPodを取り外すと、iPod内のデータが破損する場合があります。
- iPod接続中は、iPodが充電されます。（本機の電源オン時のみ）
- Music以外のApplicationを起動した状態で接続すると、自動的にiPodソースへ遷移しAPP & iPod MODEがONとなる場合があります。

外部機器を聴くには

- 1 AUX端子に市販のミニプラグケーブル（3.5φ）を差し込む

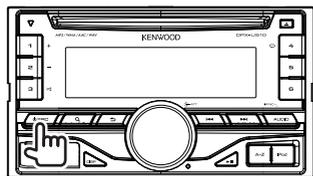
MEMO

- 接続するミニプラグケーブルは、抵抗の入っていないステレオタイプのものを使用してください。



- 2 ケーブルをお手持ちの外部機器のヘッドホン端子に接続する

- 3 **SRC** を **AUX** と表示されるまで押す



- 4 外部機器を再生する
外部機器が本機から再生されます。

MEMO

- “AUX” 表示は変えることができます。
(P.38)



ディスクやオーディオファイルを聴く

本機で使えるメディアとオーディオファイル

本機で使用できるメディアやオーディオファイルの種類、使用できる接続機器は以下のとおりです。

ディスク種類	CD-R、CD-RW、CD-ROM
ディスクフォーマット	ISO 9660 Level 1/2、Joliet、Long file name
オーディオファイル	AAC-LC (.m4a)、MP3 (.mp3)、WMA (.wma)、WAV (.wav:USBのみ)
USB機器	USBマストレージクラス
USB機器ファイルフォーマット	FAT12、FAT16、FAT32

(2012年12月現在)

MEMO

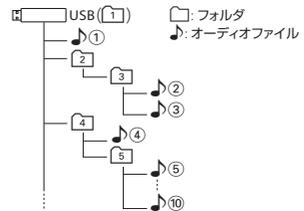
- 上記の規格に準拠したオーディオファイルであっても、メディアおよび機器の種類やコンディションによっては、正常に再生されない場合があります。
- オーディオファイルは、あらかじめバックアップを行っておいてください。USB機器の使用状況によっては保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしませんのでご了承ください。
- オーディオファイルに関するオンラインマニュアルを、www.kenwood.com/cs/ce/audiofile/で公開しています。

USB機器を聴くときは

以下のお知らせをよく読んでからご使用ください。

オーディオファイルの再生順序

右図の例では、①から⑩の順で再生されます。思った通りの順番で再生されない場合は、KENWOOD Music Editor Light/ KENWOOD Music Control (下記)を使用してデータベースを作成することをお勧めします。



KENWOOD Music Editor Light/ KENWOOD Music Controlについて

本機は、PCアプリケーション“KENWOOD Music Editor Light”とAndroid™アプリケーション“KENWOOD Music Control”に対応しています。

“KENWOOD Music Editor Light”または“KENWOOD Music Control”を使用すると、オーディオファイルにデータベースを付加することで、タイトル・アルバム名・アーティスト名などでの検索が可能になります。

“KENWOOD Music Editor Light”および“KENWOOD Music Control”は、www2.jvckenwood.com/products/car_audio/app/からダウンロードできます。

ディスク・オーディオファイル再生中の画面表示

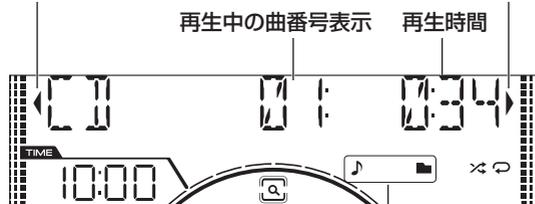
CD・オーディオファイル再生中の画面表示について説明します。

(初期設定画面)

(曲のタイトルが記録されているときはタイトル表示)

選曲のときに上に階層があるときに点灯します。

選曲のときに下に階層があるときに点灯します。



🔍 選曲(ミュージックサーチ)のときに点灯します。(P.22)

🔀 ランダム再生のときに点灯します。(P.21)

🔄 リピート再生のときに点灯します。(P.21)

選曲のときにフォルダ、曲など選択している項目を表示します。再生中は♪が点灯します。

📖 MEMO

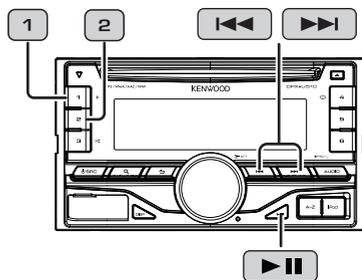
- ・ **[DISP]** を押すごとに、ディスプレイの表示を変更することができます。詳しくは「ディスプレイの表示を切り替える」(P.34)をご覧ください。

ディスク・オーディオファイルの再生機能に使うボタン

再生・停止などの操作に使用するボタンについて説明します。

曲の検索など通常再生以外に使用するボタンについては、次ページからの説明をご覧ください。

- 一時停止する → **[▶||]** を押す
- 一時停止から再生する → **[▶||]** を押す
- 早送りする → **[▶▶]** を押し続ける
- 早戻しする → **[◀◀]** を押し続ける
- 曲の先頭に戻る → **[◀◀]** を押す
- 次の曲を聴く → **[▶▶]** を押す
- 次のフォルダに進む → **[1]** を押す
- 前のフォルダに戻る → **[2]** を押す
- 前の曲を聴く → **[◀◀]** を2回押す

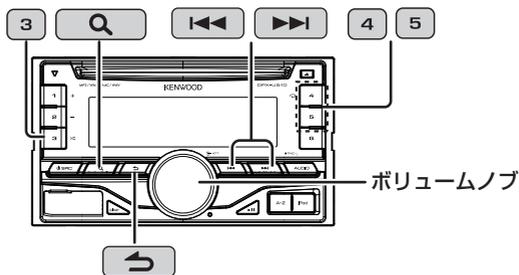


📖 MEMO

- ・ オーディオファイルでは、早送り/早戻し中には音声が出ません。
- ・ 音楽ファイルが入っていないフォルダは選択できません。



いろいろな機能を使って再生しよう



リピート・ランダム再生をする

ディスク・フォルダ内の曲を繰り返し再生したり、順不同に再生します。

1 **3** または **4** を押す

CDの場合

機能	ボタン	表示
ディスクの曲をランダムな順番で再生します。(ランダムプレイ)	3	DISC RANDOM
再生中の曲を繰り返し再生します。(リピートプレイ)	4	TRACK REPEAT

♪ こんなときは…

- ランダム再生を中止する
→ **3** を押す。
- リピート再生を中止する
→ **4** を押す。

オーディオファイルの場合

機能	ボタン	表示
フォルダの曲をランダムな順番で再生します。(フォルダランダムプレイ)	3	FOLDER RANDOM
1秒以上押すとすべての曲をランダムな順番で再生します。(オールランダムプレイ)	3 1秒押す	ALL RANDOM
再生中の曲を繰り返し再生します。もう一度押すと、再生中のフォルダを繰り返し再生します。(ファイル/フォルダリピートプレイ)	4	FILE REPEAT → FOLDER REPEAT

♪ こんなときは…

- ランダム再生を中止する
→ **3** を押す。
- リピート再生を中止する
→ **4** を押す。

📖 MEMO

- KENWOOD Music Editor Light/KENWOOD Music Controlを使用して作成したデータでは、フォルダリピートプレイはできません。

ディスクやオーディオファイルを聴く

聴きたい曲を探す (ミュージックサーチ)

曲をリスト表示にして探します。

1  を押す

2 以下の操作で聴きたい曲を選択する

CDの場合

トラックリストが表示されます。以下の操作で聴きたい曲を探します。

動作	操作
トラック表示切り替え	ボリュームノブを回します。
トラック再生	ボリュームノブを押します。

オーディオファイルの場合

再生中のフォルダが表示されます。以下の操作で聴きたい曲を探します。

動作	操作
フォルダ、ファイル表示の切り替え	ボリュームノブを回します。
表示フォルダの選択または表示ファイルの再生	ボリュームノブを押します。
1つ前の項目に戻る	 を押します。
ルートフォルダ（最上階層）に戻る	 を押します。
Music Editor Light / Music Controlでデータを付加している場合に、全曲の0.5%分の曲をスクロールする（スキップサーチ）	  を押す。

♪ こんなときは…

- ・ミュージックサーチを中止する
→  を1秒以上押す。

MEMO

- ・   を3秒以上押し続けると、設定に関係なく10%の割合で曲やリストをスキップします。例えば選択したリスト内の曲数が100曲の場合、10曲ずつスキップします。
- ・ KENWOOD Music Editor Light / KENWOOD Music Controlを使用してオーディオファイルのデータベースを作成している場合は、タイトル・アルバム名・アーティスト名などのフォルダが表示されます。
- ・ スキップサーチのスクロールする割合の変更については「音源ごとに設定を変更しよう」(P.38) をご覧ください。



iPodを聴く

iPodについて

iPodは別売品のiPod接続ケーブル KCA-iP102で接続します。音源選択の **[USB]** 表示は iPod 認識後に **[iPod]** となり、本機からの操作が可能になります。本書で断りの無い限り、「iPod」と呼んでいるのは別売品のiPod接続ケーブル KCA-iP102で接続されたiPodおよびiPhoneを指します。

本機から操作できるiPodは以下のとおりです。

Made for

- iPod touch (4th generation)
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch (1st generation)
- iPod classic
- iPod with video
- iPod nano (6th generation)
- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod nano (1st generation)
- iPhone 4S
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G

MEMO

- iPodを接続すると、本機での再生はiPodで再生していた曲から始まります。
- iPodに“KENWOOD”と表示されているときは、iPodの操作はできません。
- 接続しているiPodにより、使用できる機能が異なります。詳しくはwww.kenwood.com/cs/ce/ipodを参照してください。



iPod再生中の画面表示

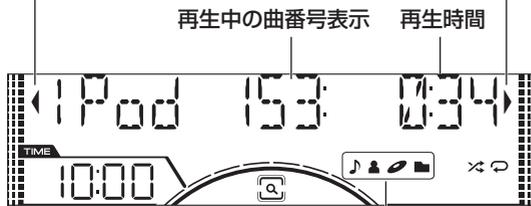
iPod再生中の画面表示について説明します。

(初期設定画面)

(曲のタイトルが記録されているときはタイトル表示)

選曲のときに上に階層があるときに点灯します。

選曲のときに下に階層があるときに点灯します。



🔍 選曲(ミュージックサーチ、スキップサーチ、アルファベットサーチ)のときに点灯します。(P.27, P.28)

🔀 ランダム再生のときに点灯します。(P.26)

🔄 リピート再生のときに点灯します。(P.26)

選曲のときにフォルダ、アーティスト、アルバム、曲など選択している項目を表示します。再生中は♪が点灯します。

📖 MEMO

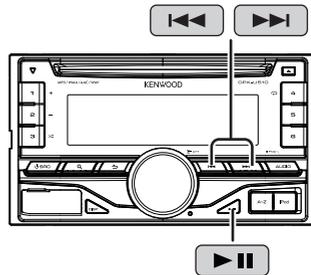
- **DISP** を押すごとに、ディスプレイの表示を変更することができます。詳しくは「ディスプレイの表示を切り替える」(P.34)をご覧ください。

iPod再生中に使うボタン

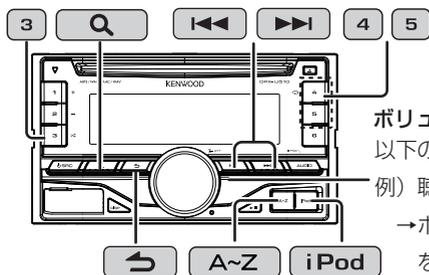
再生・停止などの操作に使用するボタンについて説明します。

曲の検索など通常再生以外に使用するボタンについては、次ページからの説明をご覧ください。

- 一時停止する → を押す
- 一時停止から再生する → を押す
- 早送りする → を押し続ける
- 早戻しする → を押し続ける
- 曲の先頭に戻る → を押す
- 次の曲を聴く → を押す
- 前の曲を聴く → を2回押す



いろいろな機能を使って再生しよう



ボリュームノブ

以下のように操作します。

例) 聴きたい曲のリストを選択する

→ボリュームノブを回して聴きたい曲のリストを選択し、ボリュームノブを押して決定する。

iPodの操作を本機またはiPod本体に切り替える

iPod接続中は、本機から操作できるモード（APP & iPod MODEがOFFの状態）と、iPodから操作できるモード（APP & iPod MODEがONの状態）のいずれかで操作します。モードを切り替えるには以下の手順を行います。

1 **iPod** を押して、音源表示を

iPod にする

iPodを接続すると自動的に**iPod**になります。

2 **iPod** を1秒以上押してONに切り替える

ONのときに **iPod** を押すとOFFに切り替わります。

MEMO

- 接続したiPodがAPP & iPod MODEに対応している場合のみ操作できます。対応していないiPodを接続した場合は、設定項目が表示されません。詳しくはwww.kenwood.com/cs/ce/ipod/を参照してください。
- APP & iPod MODEをONにしているときに本機から可能な操作は、一時停止、早送り／早戻し、前の曲・次の曲の選択です。

- APP & iPod MODEのON時は、本機のディスプレイに“APP & iPod MODE”と表示されます。

リピート・ランダム再生をする

iPod内の曲を繰り返し再生したり、順不同に再生します。

1 **3** または **4** を押す

機能	ボタン	表示
現在の項目の曲をランダムな順番で再生します。(ランダムプレイ)	3	FOLDER RANDOM
1秒以上押すとiPod内のすべての曲をランダムな順番で再生します。(オールランダムプレイ)	3 1秒押す	ALL RANDOM
再生中の曲を繰り返し再生します。(リピートプレイ)	4	FILE REPEAT

MEMO

- iPodの曲数によっては、全曲ランダムに切り替わるまでに時間がかかることがあります。



- オールランダムをONにすると、iPodのリスト項目が“Songs”に変更されず。ALL RANDOM機能をOFFにしても“Songs”のままとなります。
- オールランダムがONのときに、リストから曲を変更すると、ALL RANDOM機能はOFFになり、選択した項目内の全曲をランダム (FOLDER RANDOM) に再生します。

リストから曲を探す

リストから聴きたい曲を探します。(ミュージックサーチ)

1

 を押す

以下の項目が表示されます。

項目	表示
プレイリスト	PLAYLISTS
アーティスト	ARTISTS
アルバム	ALBUMS
曲名やファイル名	SONGS
ポッドキャスト	PODCASTS
ジャンル	GENRES
作曲家	COMPOSERS

2

以下の操作で聴きたい項目を選択する

曲名を選択するまで同様の操作を繰り返します。

動作	操作
リストの切り替え	ボリュームノブを回します。 ボリュームノブを早く回すとアルファベットサーチ (P.28) に切り替ります。
リスト選択または選択した曲の再生	ボリュームノブを押します。
1つ前の項目に戻る	 を押します。

動作	操作
トップメニューに戻る	 を押します。
全曲の0.5%分の曲をスクロールする (スキップサーチ)	  を押す。

選択した曲を含むリストが再生されません。

 こんなときは…

- ミュージックサーチを中止する
→  を1秒以上押す。

MEMO

-   を3秒以上押し続けると、設定に関係なく10%の割合で曲やリストをスキップします。例えば選択したリスト内の曲数が100曲の場合、10曲ずつスキップします。
- スキップサーチのスクロールする割合の変更については「音源ごとに設定を変更しよう」(P.38) をご覧ください。
- 曲名などで表示できない文字は“?”または空白が表示されます。ただし、すべての文字を表示できない場合は、選択したリスト名と数字で表示します。

項目	表示
プレイリスト	“PLIST***”
アーティスト	“ART***”
アルバム	“ALB***”
曲名やファイル名	“PRGM***”
ポッドキャスト	“PDCT***”
ジャンル	“GEN***”
作曲家	“COM***”

文字を入力して曲を探す (アルファベットサーチ)

選択中のリスト項目から、特定の文字を含む曲を検索します。

1  を押す

2 聴きたい曲のリストを選択する

3  を押す

4 以下の操作で聴きたい曲を探します。

動作	操作
文字の切り替え	ボリュームノブを回します。
文字の入力位置の移動	  を押す。
文字の決定 (検索の開始)	ボリュームノブを押します。

5 リストから曲を選択する
曲を選択するとサーチモードが解除され、再生が始まります。

♪ こんなときは…

- ・ サーチモードを中止する
→  を1秒以上押す。

📖 MEMO

- ・ iPodの曲数によっては、検索に時間がかかる場合があります。
- ・ a/an/theのような冠詞や記号、スペースは検索対象となりません。それらで始まる場合は、その後続く文字で探します。

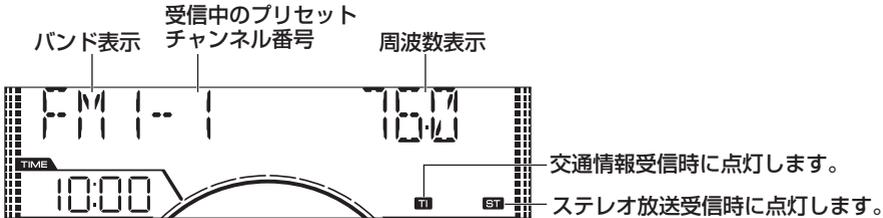


ラジオを聴く

ラジオ受信中の画面表示

ラジオ受信中の画面表示について説明します。

(初期設定画面)



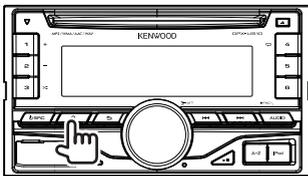
MEMO

- **DISP** を押すごとに、ディスプレイの表示を変更することができます。詳しくは「ディスプレイの表示を切り替える」(P.34)をご覧ください。
- 受信状態が悪いときなど、FMステレオ放送をモノラルで受信して雑音を軽減することができます。(P.38)
- ミックスプリセットモード (P.40) 中は、プリセットチャンネル番号は表示されません。

交通情報を聴く

再生中の音源に関わらず、いつでも交通情報を聴くことができます。

1 **Q** を1秒以上押す



交通情報が受信されます。

もう一度 **Q** を1秒以上押すと、交通情報を受信前の状態に戻ります。

♪ こんなときは…

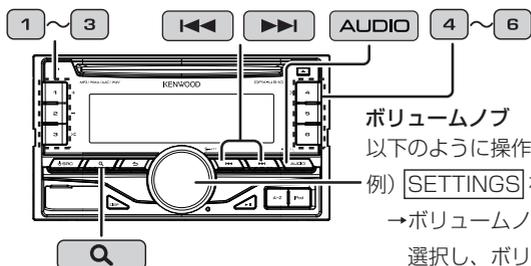
- 交通情報の受信周波数を切り替えたい
→ **◀** または **▶** を押して522kHz/1620kHz/1629kHzのいずれかに合わせる。

MEMO

- 交通情報の受信中にボリュームノブで音量を調整すると、その音量は記憶され、次に交通情報を受信したときも同じ音量で聴くことができます。



ラジオを聴く



ボリュームノブ
 以下のように操作します。
 例) **SETTINGS** を選択する
 →ボリュームノブを回して**SETTINGS** を
 選択し、ボリュームノブを押して決定する。

受信バンドを選択する

FM、AMの受信バンドを選択します。

- 1** **SEARCH** を押す
 押すごとに受信バンドが切り替わります。

聴きたい放送局を自動で探す

- 1** 聴きたいバンドを選択する
 操作方法は「**受信バンドを選択する**」
 (P.30) をご覧ください。
- 2** **PREV** または **NEXT** を押す
 受信状態の良い放送局が自動で受信さ
 れます。

♪ こんなときは…

- ・ 手で周波数を合わせたい
 → P.38を参照して、“SEEK
 MODE”を“MANUAL”に設定し、
PREV または **PREV** を押して周波
 数を合わせる。



放送局を手動登録する

受信している放送局を放送局リストに登録できます。リストに登録すると、簡単に呼び出すことができます。

1 お好みの放送局を受信する

2 ① ~ ⑥ を2秒以上押す

[STORED]と表示され、2秒以上押し続けたボタンに、受信中の放送局が登録されます。

MEMO

- 登録済みのボタンには上書きで登録されます。
- 「初期設定を変更しよう」(P.40)の“PRESET TYPE”を“TYPE MIX”に設定するとミックスプリセットモードになります。ミックスプリセットモードにすると、放送局の登録・呼び出しに関してAMとFMの区分けがなくなります。ミックスプリセットモードに記憶した放送局は、バンドを切り替えることなく希望する放送局を呼び出せます。ただしミックスプリセットモード中に登録できる放送局は6局までになります。

放送局を自動登録する (オートメモリー)

放送局を自動的に放送局リストに登録します。

1 聴きたいバンドを選択する

操作方法は「受信バンドを選択する」(P.30)をご覧ください。

2 [AUDIO] ボタンをを1秒以上押す

3 [SETTINGS] を選択する

4 [AUTO MEMORY] を選択する

5 [YES] を選択する

受信状態の良い放送局が、放送局リストに自動的に最大で6局分登録されます。

MEMO

- バンドごとに、6局の放送局を登録することができます。手動登録とオートメモリーは、どちらか最後に登録したものが有効になります。
- ミックスプリセットモード (P.40) 中はオートメモリーはできません。

登録した放送局を呼び出す

放送局リストに登録した放送局を呼び出します。

1 聴きたいバンドを選択する

操作方法は「受信バンドを選択する」(P.30)をご覧ください。

2 ① ~ ⑥ を押す

選択した放送局が受信されます。

♪ こんなときは…

- 登録された放送局を順に受信したい
→ P.38を参照して、“SEEK MODE”を“AUTO 2”に設定すると、[◀◀] [▶▶] を押すごとに順に受信します。
(ミックスプリセットモード (P.40) 中もAM、FM別に受信します)

本機の設定をする

ディスプレイの表示を設定しよう

ディスプレイの表示や色に関する設定を行います。操作方法は、「Function設定を操作しよう」(P.15)を参照してください。

1 **AUDIO** ボタンを1秒以上押す

2 **SETTINGS** を選択する

3 **DISP & KEY** を選択する

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。

太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

表示	設定内容	設定値
COLOR SELECT	ボタンとディスプレイのイルミネーション色を設定します。(P.34) 色をお好みで調整することもできます。(P.35) ALL: ボタンとディスプレイの両方のイルミネーション色を設定します。 DISP: ディ스플레이のイルミネーション色を設定します。 KEY: ボタンのイルミネーション色を設定します。	ALL/DISP/KEY
DISP DIMMER	ディスプレイの明るさを切り替えます。 AUTO: 車両のライトスイッチに連動して減光します。 MANUAL1: 常時減光します。 MANUAL2: Manual1よりもさらに減光します。 OFF: 減光しません。	AUTO /MANUAL1/ MANUAL2/OFF
TEXT SCROLL	ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダ名、ファイル名、曲タイトル/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。 AUTO: スクロールを繰り返します。 ONCE: 1回スクロールします。 OFF: スクロールしません。	AUTO /ONCE/OFF
DISP OFF MODE	「ディスプレイの表示を切り替える」(P.34)でDISP OFF MODEを選択時の時計とボタンのイルミネーションの設定をします。	—
CLOCK	OFF: 時計も消灯します。 ON: 時計は表示されます。	ON /OFF
KEY ILLUMI	OFF: ボタンのイルミネーションも消灯します。 ON: ボタンのイルミネーションは点灯します。	ON /OFF



表示	設定内容	設定値
ILLUMI DIMMER	ボタンのイルミネーションの輝度を下げます。 AUTO： 車両のライトスイッチに連動して減光します。 MANUAL1：常時減光します。 MANUAL2：Manual1よりもさらに減光します。 OFF： 減光しません。	AUTO/MANUAL1/ MANUAL2/OFF

4 設定項目を選択する

5 設定値を選択する

 MEMO

・さらに詳細な設定が必要な項目は、各説明ページをご覧ください。

6  を1秒以上押して終了する

ディスプレイの表示を切り替える

ディスプレイの表示タイプを切り替えます。

1 **DISP** を押す

MEMO

- “DISP OFF MODE” を選択すると、ディスプレイが消灯します。また、このモードを選択するとすべての音源でディスプレイが消灯します。
- 選択している音源によって、表示できる項目は異なります。
- 選択した情報がない場合は、代替の情報が表示されます。
- iPodの再生中にフォルダ名表示を選択すると、現在選択中のリスト項目に沿った名称が表示されます。
- iPodの場合、すべての文字が表示できないとき、選択したリストのファイル番号が表示されます。

表示	項目
"TITLE***"	曲名
"FOLDER***"	フォルダ名
"FILE***"	ファイル名

イルミネーション色を設定する

ボタンとディスプレイのイルミネーション色を設定します。

1 DISP & KEY設定画面を表示する
設定画面の表示方法は、「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.32) をご覧ください。

2 **COLOR SELECT** を選択する

3 色を設定したい項目を選択する
各項目の操作対象は以下のとおりです。

表示	設定内容
ALL	ボタンおよびディスプレイを同じ色に設定します。
DISP	ディスプレイの色を設定します。
KEY	ボタンの色を設定します。

4 ボリュームノブを回して設定する色を選択する

“COLOR1” ～ “COLOR24”、
“VARIABLE SCAN”、または
“USER” から選択します。

MEMO

- “VARIABLE SCAN” は基本色が順番に切り替わります。
- “USER” には、お好みで調整した色を登録することができます。(P.35)

5  を1秒以上押して終了する



イルミネーション色を調整する

ボタンとディスプレイのイルミネーション色をお好みに調整します。

1 DISP & KEY設定画面を表示する
設定画面の表示方法は、「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.32)をご覧ください。

2 **COLOR SELECT**を選択する

3 色を調整したい項目を選択する
各項目の操作対象は以下のとおりです。

表示	調整内容
ALL	ボタンおよびディスプレイを同じ色に調整します。
DISP	ディスプレイの色を調整します。
KEY	ボタンの色を調整します。

4 ボリュームノブを1秒以上押す
R (赤) G (緑) B (青) 調整画面が表示されます。

MEMO

- “VARIABLE SCAN” を選択しているときは、色の調整ができません。

5 ボリュームノブを回して調整値を選択する

、 で調整する色 (RGB) を移動します。

MEMO

- 調整した値は、設定値の“USER”に登録されます。

6  を1秒以上押して終了する

好みの音質に設定しよう（オーディオコントロール）

音響効果などを設定します。操作方法は、「Function設定を操作しよう」(P.15)を参照してください。

1 いずれかの音源を再生中に、**AUDIO** ボタンを押す

2 **AUDIO CONTROL** を選択する

オーディオ設定画面が表示されます。

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。

太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

表示		設定内容	設定値	
SUB-W LEVEL ^{*3}		サブウーファアの音量を調整します。	-15 ~ 0 ~ +15	
BASS LEVEL		低音域の音量を調整します。	-8 ~ 0 ~ +8	
MID LEVEL		中音域の音量を調整します。	-8 ~ 0 ~ +8	
TRE LEVEL		高音域の音量を調整します。	-8 ~ 0 ~ +8	
EQ PRO	BASS ADJUST	BASS CTR FRQ	調整する低音域の中心周波数を設定します。	60/80/ 100 / 200 (Hz)
		BASS LEVEL	低音域の音量を調整します。	-8 ~ 0 ~ +8 (dB)
		BASS Q FACTOR	低音クオリティファクターを設定します。	1.00 /1.25/ 1.50/2.00
		BASS EXTEND	低音中心周波数の伸張設定のON/OFFを設定します。	ON/ OFF
	MID ADJUST	MID CTR FRQ	調整する中音域の中心周波数を設定します。	0.5/ 1.0 /1.5/ 2.5 (kHz)
		MID LEVEL	中音域の音量を調整します。	-8 ~ 0 ~ +8 (dB)
		MID Q FACTOR	中音クオリティファクターを設定します。	0.75/ 1.00 /1.25
	TRE ADJUST	TRE CTR FRQ	調整する高音域の中心周波数を設定します。	10.0/ 12.5 / 15.0/17.5 (kHz)
		TRE LEVEL	高音域の音量を調整します。	-8 ~ 0 ~ +8 (dB)
	dB EQ ^{*2}		ジャンル別に設定されたイコライザーカーブを呼び出します。イコライザーカーブは音源ごとに設定できます。	USER ^{*1} /ROCK/ VOCAL/EASY/ DANCE/JAZZ/ POWERFUL/ NATURAL
BASS BOOST		低音を増強するレベルを設定します。	OFF /LV1/LV2/ LV3	



表示		設定内容	設定値
LOUDNESS		小さな音量で音楽を聴くときに不足しがちな低域と高域の音量を補正します。	OFF/LV1/LV2
BALANCE		左右の音量バランスを調整します。	L15 ~ 0 ~ R15
FADER		前後の音量バランスを調整します。	R15 ~ 0 ~ F15
SUBWOOFER SET ^{※3}		サブウーファー出力のON/OFFを設定します。	ON/OFF
DETAILED SET	LPF SUBWOOFER ^{※4}	設定された周波数（カットオフ周波数）よりも高い成分をカットします。サブウーファー出力をサブウーファー用として使用するときに、この機能を使って、出力から中高域成分をカットして低域のみの音にします。“THROUGH”に設定すると、この機能をOFFにできます。	85Hz/120Hz/ 160Hz/ THROUGH
	SUB-W PHASE ^{※5}	サブウーファーの位相（正相/逆相）を設定します。	NORMAL/ REVERSE
	SUPREME SET ^{※6}	Supreme機能のON/OFFを設定します。	ON/OFF
	NAV GUIDE	この機能をATTに設定すると、ナビ音声ガイド時にオーディオの音が小さくなります。この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。	OFF/ATT
	VOLUME OFFSET	音源ごとの音量の差を調整します。音源を切り替えても、ほぼ同じ音量で聴くことができます。	-8 ~ 0 (dB) (AUX: -8 ~ 0 ~ +8)

- ※1 “USER” 設定は、“BASS ADJUST”、“MID ADJUST”、“TRE ADJUST” の調整した値です。
- ※2 “dB EQUALIZER” 設定中は、 を押して、効果のHIGH/LOWを切り替えることができます。ただし、“NATURAL”、“USER”に設定しているときは調整できません。
- ※3 “SWITCH PREOUT” (P.40) を “SUB-W” に設定しているときに表示されます。
- ※4 “SWITCH PREOUT” (P.40) を “SUB-W” に設定し、さらに “SUBWOOFER SET” を “ON” に設定しているときに表示されます。
- ※5 “LPF SUBWOOFER” を “THROUGH” に設定しているときは表示されません。
- ※6 CD/USB/iPodのオーディオファイルを再生中に表示されます。

3 設定項目を選択する

4 ボリュームノブ（または ）で設定値を選択する

5 を1秒以上押して終了する

MEMO

- Supreme (サプリーム) 機能とは、エンコードしたときに欠落した高音域を、独自のアルゴリズムにより推定・補間する技術です。高いビットレートでエンコードされている曲や可変ビットレートでエンコードされている曲、高域の音が少ない曲では効果が表れにくい場合があります。

音源ごとに設定を変更しよう

音源ごとに用意されている機能の設定を変更することができます。操作方法は、「Function 設定を操作しよう」(P.15) を参照してください。

1 設定を変更する音源に切り替えて、**AUDIO** ボタンを1秒以上押す
メニュー画面が表示されます。

2 **SETTINGS** を選択する
各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

音源	表示	設定内容	設定値
ラジオ	SEEK MODE	放送局の探し方を設定します。 AUTO1 ：放送局を自動的に受信します。 AUTO2： ：登録されている放送局を順番に受信します。 MANUAL ：1ステップずつ周波数が変わります。	AUTO1/AUTO2/ MANUAL
	AUTO MEMORY	受信状態の良い放送局を自動的に登録します。(P.31)	—
	MONO SET*1	FMステレオ放送をモノラルで受信します。 受信状態の悪いFM放送局を聴いているときにモノラルに設定すると、雑音が軽減されて聴きやすくなる場合があります。	ON/OFF
iPod	SKIP SEARCH	曲を探すときのスキップする割合を設定します。(P.27)	0.5%/1%/5% /10%
AUX	AUX NAME SET	音源をAUXに切り替えたときに表示される名前を設定します。	AUX/DVD/ PORTABLE/ GAME/VIDEO/TV



音源	表示	設定内容	設定値
USB	SKIP SEARCH	Music Editor/ Music Controlでデータを付加している場合に、曲を探するときのスキップする割合を設定します。(P.22)	0.5%/1%/5%/10%
すべての音源	DISP & KEY	ディスプレイの表示や色に関する設定を行います。(P.32)	—

※1 FMラジオ受信時のみ。ONに設定すると、電力線などの強い電場により音質が落ちることがあります。そのような場合は、OFFに設定してください。

- 3** 設定項目を選択する
- 4** 設定値を選択する
- 5**  を1秒以上押して終了する

初期設定を変更しよう

操作時の音に関する設定や、CDの読み込み方法に関する設定などを行います。操作方法は、「Function設定を操作しよう」(P.15)を参照してください。

1 音源をSTANDBYに設定する

2 **AUDIO** ボタンを1秒以上押す

3 **INITIAL SET** を選択する

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。

太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

表示	設定内容	設定値
PRESET TYPE	放送局をFM/AMの区別無しに登録します。 TYPE NORMAL : FM1/FM2/AM1/AM2の各バンドに6局ずつ登録できます。 TYPE MIX : FM/AM合わせて6局のみ登録できます。FM/AMの切り替えなしで呼び出せます。	TYPE NORMAL /TYPE MIX
KEY BEEP	操作時のビープ音を設定します。	ON/OFF
BUILT-IN AUX	音源選択時にAUXが表示されます。 ON : AUX音源に切り替えたときに、内部AUX端子に接続した外部機器の音声が出力されます。 OFF : 内部AUX端子を使用しないときに選択します。	ON/OFF
CD READ	CDの読み込み方法を設定します。 特殊なフォーマットのCDを再生中、正常に再生できない場合に強制的に再生させる機能です。ただし音楽CDによっては再生できない場合もあります。 1 : 通常はこちらでご使用ください。 2 : 音楽CDとして強制的に再生します。オーディオファイルの再生はできなくなります。	1/2
SWITCH PREOUT	プリアウトの出力を設定します。 SWPRE REAR : リア用出力に設定します。 SWPRE SUB-W : サブウーファー用出力に設定します。	SWPRE REAR/ SWPRE SUB-W
F/W UPDATE	以下の手順でファームウェアをアップデートします。 アップデートに関する情報は、 www.kenwood.co.jp/faq/ をご覧ください。	—

4 設定項目を選択する

5 設定値を選択する



6  を1秒以上押して終了する

困ったときに

故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
操作ボタンを押しても動作しない	システムに異常が発生している。	リセットボタン (P.44) を押してください。
チューナーの感度が悪い	自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを十分に伸ばしてください。
FMIは受信できるがAMが受信できない	アンテナコントロール電源が接続されていない。	「配線をしましょう」(P.48) を参照して、正しく接続し直してください。
	アンテナ入力がきちんと接続されていない。	アンテナ入力を確実に接続してください。
ディスクが取り出せない	ディスクが排出の途中で止まっている。	ディスクが完全に排出されるまでイジェクトボタンを押し続けてください。
	車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。	ACCスイッチをオフにしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。
CDやオーディオファイルを再生できない	ディスクが異常に汚れている。	「お気をつけください」(P.11) を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
	初期設定の“CD READ”項目を“2”に設定している。	「初期設定を変更しよう」(P.40) を見て、“CD READ”項目を“1”に設定してください。
オーディオファイル再生中に音飛びする	ディスクに傷や汚れがある。	「お気をつけください」(P.11) を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
	ディスク作成時に問題があった。	ディスクを作成し直すか、ほかのディスクを使用してください。
フォルダ検索をすると雑音が出る	オーディオファイルが入っていないフォルダが連続して存在すると雑音が出る場合があります。	オーディオファイルが入っていないフォルダは作成しないでください。
オーディオファイルの曲がスキップする	対応していないオーディオファイルを再生した。	www.kenwood.com/audiofile/ を参照して、本機で再生できるオーディオファイルに変換してください。
演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない	オーディオファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。	—

症状	原因	処置
iPodで の「Songs」の曲数と本機での「Songs」の曲数が違う	本機にiPodを接続すると、「Songs」ではポッドキャストファイルは再生されません。	故障ではありません。
USB機器を認識しない、またはUSB機器のオーディオファイルの音が出なくなった	USBコネクタが抜けている。	USB機器やUSBケーブルのコネクタを確実に接続してください。

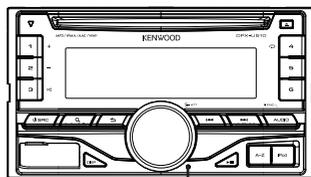
困ったときに

異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かな?と思ったら」(P.42)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源を切り、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- ディスクが取り出せない。



リセットボタン

こんなメッセージが表示されたら…

操作ができない場合のメッセージです。以下の処置にしたがって対応してください。

メッセージ	原因	処置
TOC ERROR :	ディスクが異常に汚れています。	「お気をつけください」(P.11)を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
	ディスクに傷が多く付いています。	傷のあるディスクはご使用にならないでください。
	ディスクが裏返しになっています。	ディスクを正しい向きで挿入し直してください。
READ ERROR :	接続しているUSB機器またはiPodのファイルシステムが破損しています。	USB機器/iPodのファイル、フォルダをコピーし直してください。 それでもエラー表示が消えない場合は、USB機器/iPodをフォーマットするか、他のUSB機器/iPodを使用してください。
NA FILE :	サポートされていないフォーマットのオーディオファイルを再生しようとしていました。	本機でサポートされているフォーマットのオーディオファイルをご使用ください。
COPY PRO :	再生しようとしたオーディオファイルは、コピープロテクトされています。	ファイルのコピープロテクトを解除してください。

本機のシステムに不具合があるときや操作が受け付けられないときのメッセージです。以下の処置にしたがって対応してください。

メッセージ	原因	処置
PLEASE EJECT :	何らかの原因で正常に動作していません。	イジェクトボタンを押してください。 それでも表示が消えないときは本機のリセットボタン (P.44) を押してください。 上記の処置を施しても表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
READING :	ディスクに収録されているデータのチェック中です。	チェックが終われば正常に作動します。
PROTECT (点滅) :	スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシーに接触したために、保護回路が働きました。	スピーカーコードを適切に配線/絶縁しなおしてから、本機のリセットボタン (P.44) を押してください。 それでも表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
NO DEVICE :	USB機器/iPodが接続されていないときに、音源をUSB/iPodに切り替えました。	USB/iPod以外の音源に変えてください。その後、USB機器/iPodを接続し、再度音源をUSB/iPodにしてください。
NA DEVICE :	サポートされていないUSB機器/iPodを接続しました。	接続したUSB機器/iPodがサポートされているか確認してください。 サポートされているUSB機器/iPodについては、「本機で使えるメディアとオーディオファイル」(P.19)、「iPodについて」(P.24)を参照してください。 それでも表示が消えない場合は、いったんUSB機器/iPodを取り外し、再び接続してください。
NO MUSIC :	接続されているUSB機器/iPodには、再生できるフォーマットのオーディオファイルがありません。	再生可能なフォーマットのオーディオファイルが入ったUSB機器/iPodを接続してください。
USB ERROR :	接続されているUSB機器に不具合が発生した可能性があります。	iPodを本機から取り外し、iPodのリセット(設定メニュー内の「リセット」とは異なります)を行った後、再度本機に接続してください。 iPodのリセット方法についてはアップル社のウェブサイトを参照してください。
iPod ERROR :	iPodとの接続に不具合が発生しています。	「iPodについて」(P.24)を参照して、接続しているiPodが本機で使えるiPodかどうか確認してください。 iPodをiPod接続ケーブルから取り外し、接続し直してください。 iPodのソフトウェアを最新のものにアップデートしてから接続してください。

本機を取り付けるときは

必ずお読みください

警告



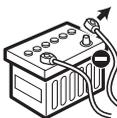
禁止

- 大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V ⊖ アース車専用です。



実施

- 配線作業中は、バッテリーの ⊖ 端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



- 本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



- 本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



- 車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



- バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。

- 電源端子およびスピーカー端子のカバーが、端子の先端より長い場合は、接続が不完全になる場合があります。このような場合は、カバーの長さを端子の長さと同じになるように切り取ってください。

警告



実施

- 本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



禁止

- 事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

- コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



- 本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。



- アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。

- 車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



注意

- 車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



- 本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

- 本製品は自動車のコンソールに設置してください。本製品の使用中および使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

- バッテリーの ⊖ 端子を外すと、車に装着しているコンピューターのメモリーが消えたり、車両(外国車など)の電装系に不具合が発生する場合があります。詳しくはカーディーラーにお問い合わせください。

本機を取り付けるときは

配線をしましょう

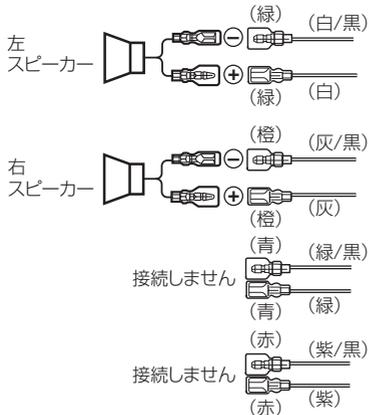


実施

最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

1. エンジンキーを抜き、バッテリーの⊖端子を外します。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 電源をオンします。
8. 本機のリセットボタン（P.44）を押します。

2スピーカー時のスピーカー接続方法



注意 接続しないスピーカーコードの端子は、端子に保護テープを巻くなどの絶縁処理を行ってください。

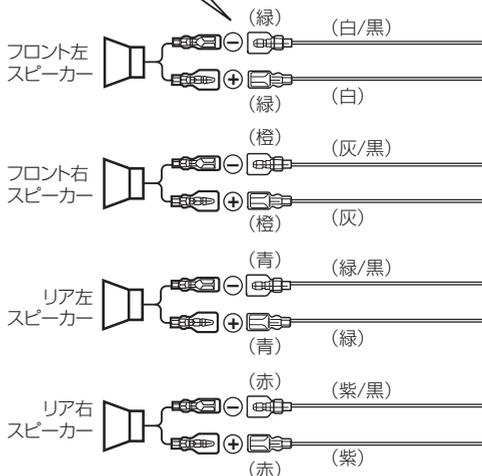
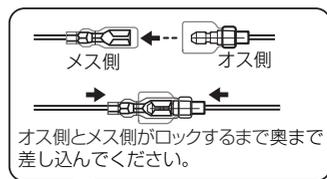
MEMO

- プリアウト出力にサブウーファーを接続する場合は、“SWITCH PREOUT”（P.40）を“SWPRE SUB-W”に設定してください。

アンテナ入力

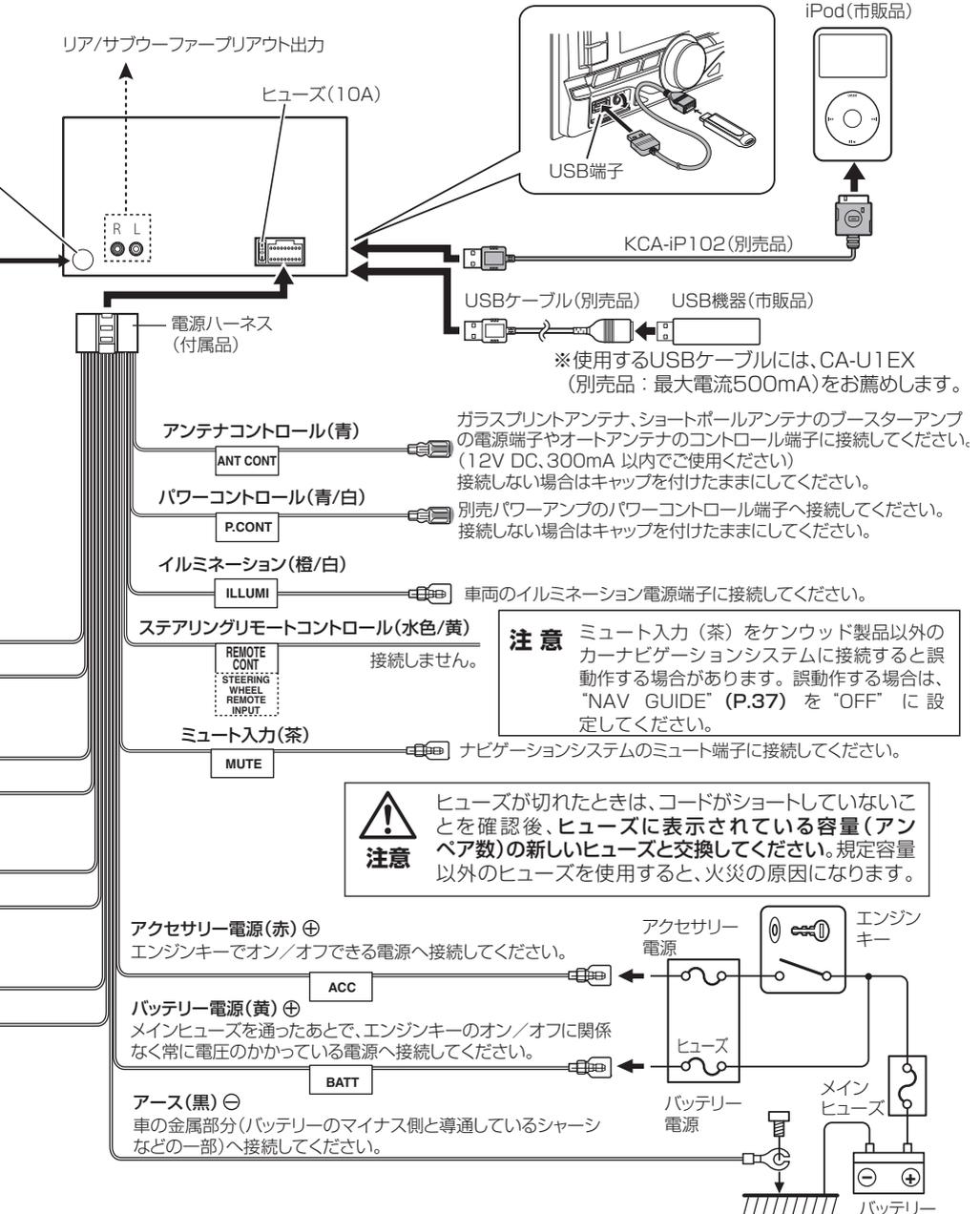
車両アンテナ端子

注意 電源ハーネスは「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。



注意 ・スピーカーコードの⊕ ⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
・複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。

本機を取り付けるときは



こんなときは

本機を取り付けるときは

取り付けましょう

本機を車両ブラケットに取り付ける手順をご紹介します。

使用するのは、付属のトラスネジ (M5×8mm) またはサラネジ (M5×8mm) を6本です。

MEMO

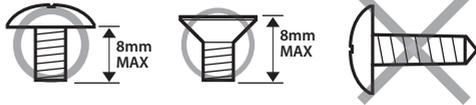
- 別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用すれば、ご使用のお車に最適の方法で取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。



● 取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

なお、取り付けネジはトラスネジおよびサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



本機に付属しているネジ

 トラスネジ (M5×8 mm) ×6

 サラネジ (M5×8 mm) ×6

 セムスネジ (M4×8 mm) ×1

トラスネジ (M5×8mm) (付属)
または
サラネジ (M5×8mm) (付属)

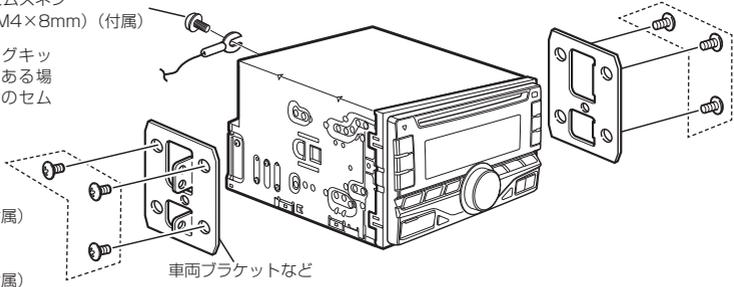


セムスネジ
(M4×8mm) (付属)

別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のセムスネジで固定します。

トラスネジ
(M5×8mm) (付属)
または
サラネジ
(M5×8mm) (付属)

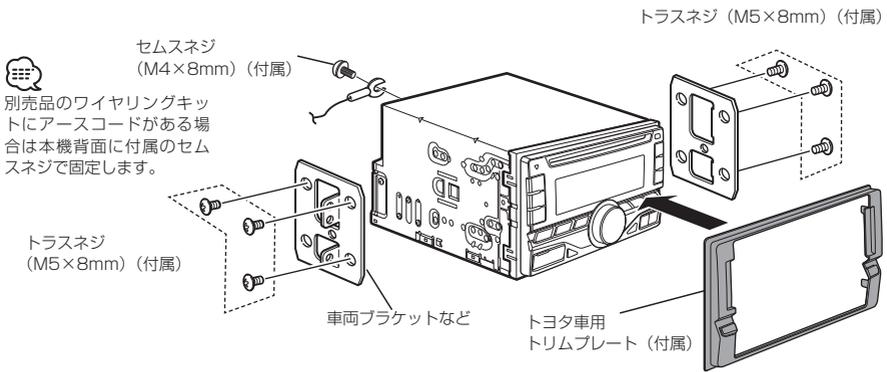
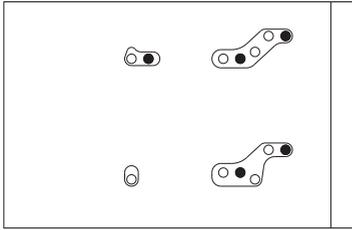
車両ブラケットなど



本機を取り付けるときは

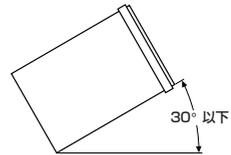
トヨタ車用トリムプレートを使用して取り付ける場合

図の●の位置の取り付け穴で、車両ブラケットに合う取り付け穴を使用して取り付けます。



注意

- 本機取り付け角度は 30° 以下になるように取り付けてください。 30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。



用語集

AAC (エーエーシー)

正式名「Advanced Audio Coding」の略称で、デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法の、オーディオ部分のみの圧縮規格です。本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。

使用できるAAC収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとオーディオファイル**」(P.19)をご覧ください。

MP3 (エムピースリー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称で、DVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法の、オーディオ部分のみの圧縮規格です。

本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。

使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとオーディオファイル**」(P.19)をご覧ください。

WMA (Windows Media™ Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。

本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。

使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとオーディオファイル**」(P.19)をご覧ください。

WAV

米Microsoft Windows標準の音声ファイル形式で、音声信号をデジタルデータに変換したものを記録するためのフォーマットです。

本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。

使用できるWAV収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとオーディオファイル**」(P.19)をご覧ください。

商標について

- Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。
- The “AAC” logo is a trademark of Dolby Laboratories.
- “Made for iPod,” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- Androidは、Google Inc.の登録商標です。

仕様

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ) :
76.0 MHz ~ 90.0 MHz (100 kHz)

実用感度 (S/N : 26 dB) :
7.2 dBf (0.63 μ V/75 Ω)

クワイティング感度 (S/N : 46 dB) :
15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)

周波数特性 (± 3.0 dB) : 30 Hz ~ 15 kHz
S/N比 :

75 dB (MONO)

ステレオセパレーション
45 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ) :
522 kHz ~ 1629 kHz (9 kHz)

感度 (S/N 20 dB)
31 dB μ (36 μ V)

CDプレーヤー部 :

レーザーダイオード : GaAlAs

デジタルフィルター :
8倍オーバーサンプリング

D/Aコンバーター : 24 Bit

回転数 (オーディオファイル) :
500 ~ 200 rpm (線速度一定)

ワウ&フラッター : 測定限界以下

周波数特性 : 20 Hz ~ 20 kHz (± 3 dB)

高調波歪み率 : 0.01 % (1 kHz)

S/N比 : 105 dB (1 kHz)

ダイナミックレンジ : 90 dB

MP3デコード :
MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠

WMAデコード :
Windows Media™ Audio 準拠

AACデコード : AAC-LC ".m4a" ファイル

USB I/F部

USB規格 : USB 1.1/2.0 (Full speed対応)

ファイルシステム : FAT12/16/32

最大供給電流 : DC5V \leq 1A

MP3デコード : MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠

WMAデコード : Windows Media™ Audio 準拠

AACデコード : AAC-LC形式 ".m4a" ファイル

WAVデコード : Linear-PCM

オーディオ部

最大出力 : 50 W \times 4

定格出力 : 30 W \times 4 (4 Ω , 1kHz, 10%THD以下)

スピーカーインピーダンス : 4 ~ 8 Ω

プリアウトレベル (CD) :

2500 mV/10 k Ω

プリアウトインピーダンス : 600 Ω 以下

オーディオコントロール :

Bass 100 Hz \pm 8 dB

Middle 1 kHz \pm 8 dB

Treble 12.5 kHz \pm 8 dB

AUX入力

周波数特性 : 20 Hz ~ 20 kHz (± 1 dB)

入力最大電圧 : 1200 mV

入力インピーダンス : 10 k Ω

電源部

電源電圧 : 14.4 V (11 ~ 16 V)

最大消費電流 : 10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D) :

178 \times 100 \times 159 mm

質量 (重さ) : 1.5 kg

付属部品

電源ハーネス : 1本

トヨタ車用トリムプレート : 1個

トラスネジ (M5 \times 8 mm) : 6本

サラネジ (M5 \times 8 mm) : 6本

セムスネジ (M4 \times 8 mm) : 1本

MEMO

・これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(P.42)を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。（「ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去される場合があります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

● 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）

● 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

● 技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

● 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご遠慮なくお問い合わせください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

ケンウッド 全国サービス網

アフターサービスについてのお申し込みは、購入店かお近くのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

北海道			
札幌サービスセンター	☎004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29	☎(011) 807-3003
東北			
仙台サービスセンター	☎984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13	☎(022) 287-0151
関東・信越			
さいたまサービスセンター	☎331-0812	さいたま市北区宮原町1-202	☎(048) 778-8714
千葉サービスセンター	☎277-0863	柏市豊四季512-10-67	☎(04) 7175-4322
横浜サービスセンター	☎226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎(045) 939-6242
八王子サービスセンター	☎192-8525	東京都八王子市石川町2967-3	☎(042) 646-6914
新潟サービスセンター	☎950-0913	新潟市中央区鏡1-5-23	☎(025) 245-2177
東京サービスセンター	☎135-0023	東京都江東区平野3-2-6 木場パークビル1F	☎0120-2727-87
<small>(修理持込専用窓口) 電話でのお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンター（裏表紙をご覧ください）にて承ります。</small>			
中部・甲州			
名古屋サービスセンター	☎481-0041	北名古屋市長九之坪鶴田121-1	☎(0568) 24-1644
静岡サービスセンター	☎420-0816	静岡市葵区菅谷5-61-1	☎(054) 262-8700
金沢サービスセンター	☎921-8062	金沢市新保本4-65-17	☎(076) 269-4821
近畿・四国			
大阪サービスセンター	☎532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28	☎(06) 6390-8005
高松サービスセンター	☎761-8057	高松市田村町205-1	☎(087) 802-6055
中国			
広島サービスセンター	☎730-0825	広島市中区光南3-9-17	☎(082) 241-0023
九州			
福岡サービスセンター	☎812-0031	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡3F	☎(092) 283-6675
鹿児島サービスセンター	☎891-0114	鹿児島市小松原1-5-17	☎(099) 268-0030
沖縄サービスセンター	☎901-2224	宜野湾市真志喜1-11-12 コモンズビル1F	☎(098) 898-3631

サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間 10:00～18:00（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます。）
（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-2727-87

携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950

FAX 045-450-2308

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンターにご相談ください。
- カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録（My-Kenwood）をお願いしています。弊社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。
<http://jp.my-kenwood.com>